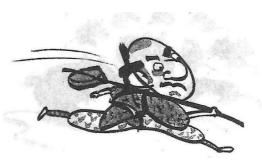
出合い算解答 ※算法童子問より

甲と乙の 2 人の飛脚が、江戸と京都の間を往復している。この間の距離は 120 里で、甲は 1 日に 14 里ずつ、乙は 1 日に 11 里ずつ走る。2 人が同時に江戸を出発したとき、2 人は何日後に出合うことになるか。

なお、京都についた飛脚は、すぐその足で江戸に引き返すものとする。

【答え】 9.6日後

【解説】 甲のほうが速いので、さきに京都につく。すると、ただちに江戸に引き返すので、帰途のどこか



で乙と出合う。こうして、甲は江戸に帰る途中、乙は京都に向かう途中で2人は出合う。

いま、2人が出合うまでに走った距離の合計を考えると、

江戸・京都間の2倍の、

120×2=240 里

となる。

ところが、甲は 1 日に 14 里、乙は 1 日に 11 里走るので、2 人が 1 日に 走る距離の合計は、

14+11=25 里

である。このため、240 里の距離を 2 人合わせて 1 日に 25 里ずつ走ることになり、

240÷25=9.6 日

で出合うことになる。

もし、2人とも朝から 12時間ずつ走るとすれば、2人が出合うまでに、その日の朝から、

12 時間×0.6=7.2 時間=7 時間 12 分かかることになる。